

環境人材の育成

環境活動に主体的に取り組む人材を育成

三菱電機グループでは、長期環境経営ビジョン「環境ビジョン2050」の行動指針「次世代に向けてイノベーションに挑戦する」に沿った重点取組の一つとして、「人材育成」を掲げています。

三菱電機グループの一人ひとりが、生活者として、自然と調和する新しいライフスタイルの実現に率先して取り組む社内風土の醸成に努めています。また、高い専門性を持ち、多様な価値観を受け入れ、環境課題に積極的に取り組む人材を継続的に育成しています。教育を効果的に行うため、役割や専門性に応じて、様々な教育カリキュラムを運用しています。

環境教育体系

対象者	講座名
管理職	<ul style="list-style-type: none"> 環境推進責任者研修 環境担当課長研修 新任環境担当課長研修
環境業務に関連する社員	<ul style="list-style-type: none"> MELCO ゼミナール環境講座 <ul style="list-style-type: none"> 廃棄物管理 省エネ法 化学物質管理 環境適合設計 生物多様性 環境法規制 環境監査 ISO 14001 環境キーパーソン連絡会 環境基礎教育 内部監査員養成
一般社員	<ul style="list-style-type: none"> 海外赴任者研修環境講座 全社員向け e-Learning「三菱電機グループの環境経営」 世代別環境講座 新入社員共通基礎講座 環境マインド育成に向けた活動 <ul style="list-style-type: none"> 事業所の生物多様性保全 里山保全プロジェクト みつびしでんき野外教室 野外教室リーダー養成/リーダーブロック会議

環境事故の防止

情報共有や設備点検を通じて環境事故を未然防止

三菱電機グループは、国内外を問わず、水質・土壌の汚染や環境に影響を及ぼす物質の漏洩を始めとする環境事故の未然防止に努めています。

その対策として、全従業員を対象に関連する法規制への理解・浸透を図るとともに、改正があった場合は、社内のルールを見直して周知を徹底しているほか、不具合（軽微なミスなど）が発生した場合も、その原因や対策を共有し、再発防止に努めています。また、不具合事例や法規の制定・改定の要点などをまとめた三菱電機グループ（国内）向けの動画教材を各拠点で視聴するなど、環境管理のポイントを確実に浸透させ、環境リスク管理への意識向上を図っています。これらに加え、グループの各拠点で定期的に設備点検を実施し、その結果を踏まえて、随時必要な対策を講じています。

また、主な海外関係会社に対して環境監査を実施し、環境リスクの発見と未然防止に努めています。

土壌・地下水汚染への対応

三菱電機グループの事業所（製作所、研究所など）では、土地の形質変更などの機会に法規制に準じた調査手法に基づいてアセスメントを実施し、汚染の状況に応じて必要な対策・措置を行うことを社内規則に定めています。

2020年度は7件の土地利用に伴う土壌・地下水状況についての調査結果と対策を評価し、すべて適正に対応していることを確認しました。

なお、過去に地下水・土壌の汚染が認められた地区については、法規制に準拠した方法で浄化施策を実施するとともに、モニタリングの結果を行政に継続報告しています。

PCB廃棄物・PCB使用機器の適切な保管と処理

三菱電機では、PCB廃棄物を保管又はPCB使用機器を取り扱っている各拠点で、保管・使用状況を年1回以上点検・確認しています。

高濃度PCB廃棄物については、JESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）との処分契約締結などすべての手続きを完了しました。2020年度は172台の機器類（1,397kg）の処理を完了しました。また、国内関係会社においても714台の機器類（670kg）の処理を完了しました。

過去に三菱電機グループが製造したPCB使用機器については、お客様にご確認いただけるようウェブサイトの一覧表を公開しています。

PCBを含む電気機器への対応

<https://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/environment/disclosure/pcb/index.html>